

市民参加に関係する新しい事業や取組

(令和5年1月19日から令和5年3月15日までに広報発表されたもの)

広報発表日	概要	所属
2月1日	環境に配慮したアクションに対して付与するまちづくり通貨「京都祭コインCOMO」の取組開始について 京都市は、二酸化炭素（CO₂）を排出しない社会・経済活動への転換と、脱炭素が生活の質の向上や豊かさにつながる、持続可能なライフスタイルへの転換を目指し、「京都発脱炭素ライフスタイル推進チーム～2050京創ミーティング～」のワーキンググループにおいて、一人ひとりの生活の中での選択を脱炭素につなげる様々なプロジェクトを創出しています。 「地域での生ごみ堆肥の活用推進プロジェクト」は、これまでLFC コンポスト（ローカルフードサイクリング株式会社が提供するバッグ型コンポスト）堆肥の回収会&ミニ講座等の開催を通じて、生ごみ堆肥の活用による資源循環モデルの拡充に取り組んできました。 この度、ワーキンググループのメンバーである株式会社夢びとが、生ごみ堆肥の取組などの環境に配慮したアクションに対して、まちづくり通貨「京都祭コインCOMO」の発行を開始しますので、お知らせします。 個人の取組として共有される機会がなかった生ごみ堆肥等のアクションを、通貨アプリを通じて共有し、コミュニティを形成することで、一人ひとりが地域循環の担い手として持続可能なまちづくりに関わる機会を創出します。 1 「京都祭コインCOMO」について (株)eumo（ユーモ）が提供する共感コミュニティ通貨アプリ「eumo」のプラットフォームを活用し、(株)夢びとが発行、運用するまちづくり通貨。「京都祭コインCOMO」は、環境問題を学ぶ機会の参加費の一部等で利用できます。 なお、本取組の一部は環境省が実施する「食とくらしの「グリーンライフ・ポイント」推進事業」の採択を受け、取り組んでいます。 (1) 運用開始日 令和5年2月1日（水）10時 (2) 付与の対象となるアクションについて LFC コンポストを用いて家庭で出る生ごみを堆肥化し、(株)夢びとが開催する堆肥回収会に堆肥を持参することで、「京都祭コインCOMO」が付与されます。 (3) 利用方法について 利用には、(株)eumo が提供する「eumo アプリ」のインストール及びごみカフェKYOTO公式LINE への登録が必要です。詳細はごみカフェKYOTO 公式LINE を御覧ください。 <参考> LFC コンポスト堆肥回収会&ミニ講座開催の取組について(株)夢びとが取り組む「ごみカフェkyoto」が主体となり、大宮交通公園などで、LFC コンポストでできた堆肥の回収や堆肥づくりの始め方などを伝えるミニ講座を開催してきました。これまで令和4年7月と11月の2回開催し、27名の参加、54.3kgの堆肥を回収しました。	環境政策局 地球温暖化対策室

広報発表日	概要	所属
3月1日	大谷大学社会学部松川節ゼミ×北区「WA（わ）のころ」創生事業 北区「WAのころ」動画の完成について 伝統文化の担い手や寺社、大学、区役所等で構成する北区「WA（わ）のころ」創生ネットワーク会議では、自然への深い感謝の念や繊細なおもてなしの精神など日本人が大切にし、受け継いできた日本のこころを次世代に継承する取組を進めています。 この取組に共感いただいた大谷大学社会学部松川節教授のゼミ（研究テーマ「文化財のデジタル化」）が北区の源光庵と敷地神社（わら天神宮）を取材。この度、地域とともに積み重ねられてきた想いを大学生の瑞々しい感性で映像化した動画作品が完成しましたので、お知らせします。 1 動画内容 源光庵と敷地神社（わら天神宮）の紹介及び御住職と宮司へのインタビューを通じて地域との繋がりやお気持ちに迫ることで、それぞれの場所の知られざる姿を撮影。 2 公開日時 令和5年3月8日（水） 午前10時～ 3 公開方法 京都市公式YouTubeチャンネル「きょうと動画情報館」に掲載予定	北区役所 地域力推進室 企画担当
3月10日	京都市脱炭素先行地域推進コンソーシアム の設立について 京都市は、国が進める脱炭素先行地域への選定を受け、当該地域の文化遺産、商店街、住まい等において、2030年度までに電力消費に伴うCO₂排出量正味ゼロを実現するための取組を推進することで、脱炭素が地域コミュニティの活性化など、地域課題の解決にも結び付く地域脱炭素モデルの創出を目指しています。 この度、民間事業者間の連携を核に上記の取組を着実に実行するための推進体制として、「京都市脱炭素先行地域推進コンソーシアム」の設立総会を開催しますので、お知らせします。 1 京都市脱炭素先行地域推進コンソーシアムについて （1）目的 京都市脱炭素先行地域において、民間事業者の連携を核に取組を着実に実行し、2030年度までに電力消費に伴うCO₂排出量正味ゼロを実現することを目的とします。さらに、地域コミュニティの活性化をはじめ、京都ならではの地域脱炭素のモデルを示し、同取組を市内外に波及させることで、2050年カーボンニュートラルの達成につなげていきます。 （2）活動内容 上記（1）の目的達成に向けて、次の各取組を推進します。 ア 文化遺産の脱炭素転換に関する取組 イ 商店街の脱炭素転換に関する取組 ウ 住まいの脱炭素転換に関する取組 エ 脱炭素転換の基盤として、再生可能エネルギーの供給に関する取組 オ 脱炭素転換の基盤として、ファイナンスに関する取組 カ 脱炭素転換の基盤として、グリーン人材に関する取組 キ 脱炭素転換の波及として、サステナブルツーリズムに関する取組 ク その他目的を達成するために必要な取組	環境政策局 地球温暖化対策室

